

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西三国小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	淀川区
学 校 名	大阪市立西三国小学校
学 校 長 名	新木 克昌

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立西三国小学校では、第6学年 92名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西三国小学校の結果概要

平均正答率については、全国の平均正答率に対して国語は11.9ポイント下回り、算数は15.4ポイント下回った。平均無解答率については、国語が9.9ポイント、算数が12.2ポイントであり、全国の平均無回答率を上回る結果であった。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

国語科については全国平均の-11.9ポイント（昨年度は-4.8）となっている。資料を活用して表現を工夫する力や必要な情報を読み取る力、基本的な漢字の力に課題がみられる。また、記述式の問題では無回答率が高くなり、書くことに対する抵抗感の高さも伺われる。

〔算数〕

算数科については全国平均から-15.4ポイント（昨年度は-5.0）となっている。ほとんどの問題で全国の平均正答率を10ポイント以上下回っており、基礎学力の定着に大きな課題がある。特に分数の大小比較や割合の問題の正答率が低く数量の捉え方の理解ができていない。また、立方体の体積の公式等の基本的な知識の定着もできていない。

国語、算数に共通して無回答率が高いことが課題である。学習意欲を高めるための学び方の工夫、学習環境の見直し、学習習慣づくりに取り組む必要がある。

質問調査より

教科についての質問項目では、国語「解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」、算数「言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」の項目で、「最後まで解答を書こうと努力した」と回答した者は、全国と比べて【国-35.8 算-34.8】と記述式の問題に苦手意識があることがうかがえる。

「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の項目は、「当てはまる」と回答した児童の割合は全国を上回り、昨年度と同様に肯定的に回答する児童が多かった。ただ「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」の質問に対しては、1時間未満と回答している児童の割合は60.1%(昨年度は59.2%)であり、家庭学習の時間が十分とは言えない結果がみられる。引き続き児童が学ぶ楽しさを感じ、学ぶ意欲を高める授業づくりに取り組む必要がある。加えて「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、スマートフォン等でSNSや動画視聴をしますか」の項目では、2時間以上と回答する児童が73.3%とかなり高い割合となっていることから、家庭での過ごし方について、家庭学習の習慣づくりのため、家庭との連携を強化していかなければならない。

今後の取組（アクションプラン）

今年度より算数科を研究教科として設定し、基礎学力の定着に向けて授業研究に取り組んでいる。今年度もすべての教員が「一人一授業」の取り組みとして授業公開をするとともに、教員が参観できる環境を整え、実践的な研究に力を注ぐ。また、「ティーチング・エンパワーメント事業」を活用して指導助言を受けたり、学校全体で指導案検討会・討議会を行う授業研究会を実施したりすることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、児童が自ら学び、自分の考えを表現する力を伸ばすことにつなげたい。効果的な学習形態の工夫を探るとともに、「タブレットドリル」「ナビマ」などICT教材を活用し、各教科の基礎的・基本的内容の定着率を高められるように、個別最適化した学びを提供する。また分析した課題を、全教職員で共有し、学力向上に取り組むために個に応じた支援の方法を探り、スモールステップで達成感を味わわせるようにする。

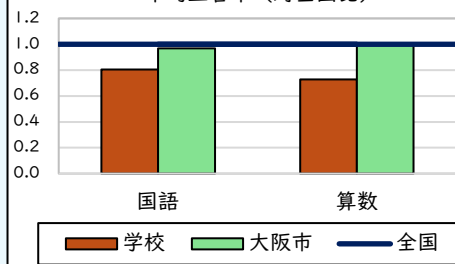
さらに、大阪市の様々な施策を生かし、学びサポーター、ブロック予算による授業の充実を図るとともに、学力補充が必要な児童に対して区役所と連携した「放課後わくわく教室」を活用し学力向上につなげていく。ほかにも放課後学習なども取り入れながら、基礎基本を中心とした児童の学力向上に取り組みたい。その上で、保護者、地域、学校が協力して、学校グランドデザインに示した「学ぶ意欲をもち、人と豊かに関わるしなやかな子の育成」を目指す。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

平均正答率（％）

	国語	算数
学校	49	41
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4

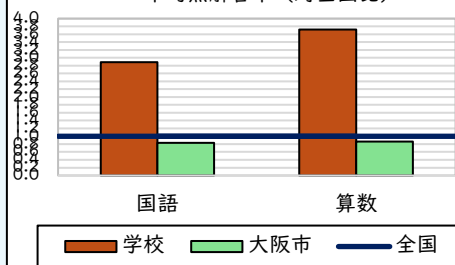
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	9.9	11.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2

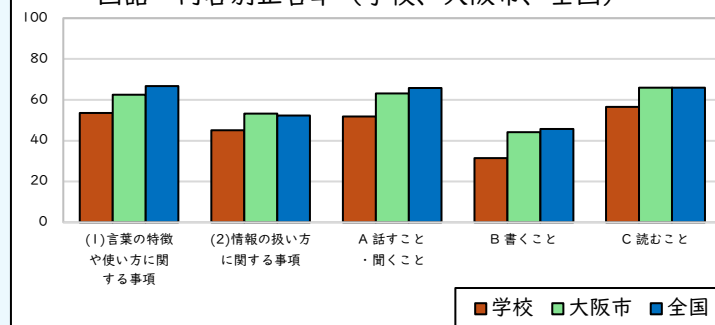
平均無解答率（対全国比）



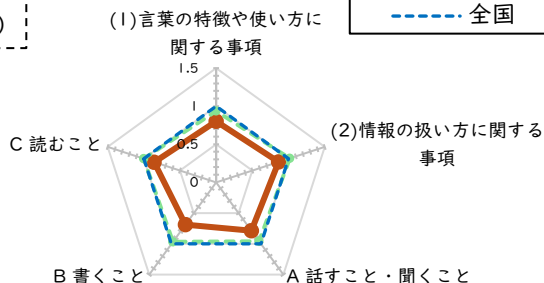
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	53.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	45.1	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	51.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	31.5	44.2	45.7
C 読むこと	2	56.5	66.0	65.9

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



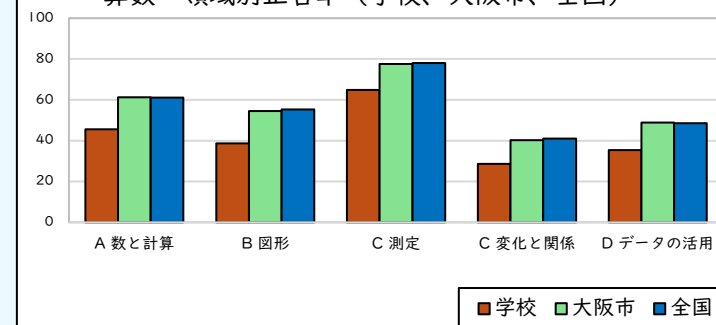
国語
内容別正答率
（対全国比）



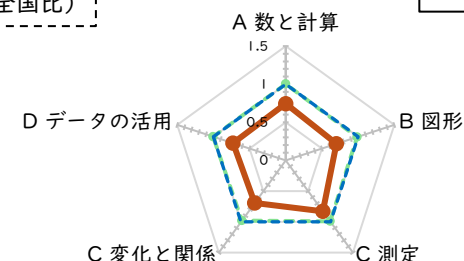
【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	45.5	61.2	61.1
B 図形	4	38.7	54.5	55.3
C 測定	1	64.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	28.6	40.3	41.1
D データの活用	4	35.4	48.8	48.6

算数 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



算数
領域別正答率
（対全国比）



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

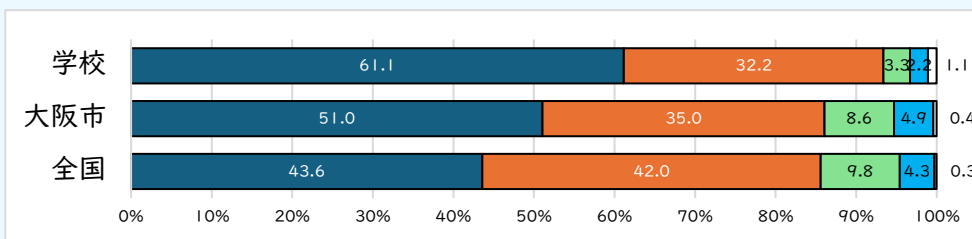
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

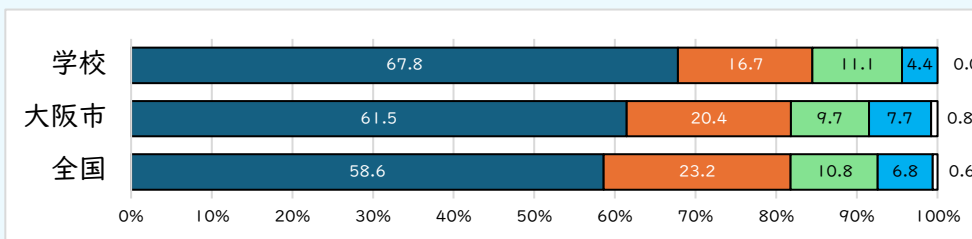
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



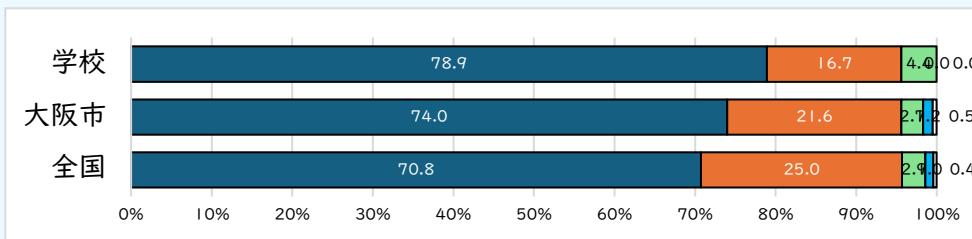
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



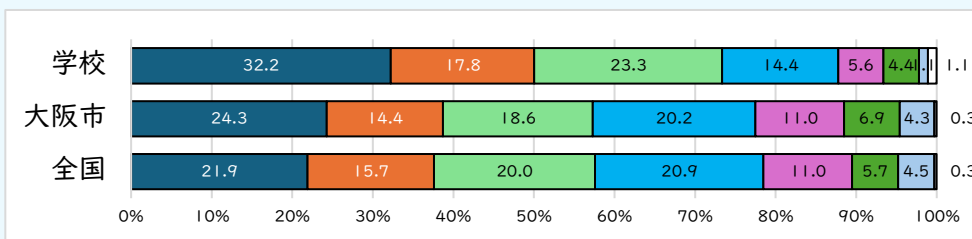
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
------	---------------------



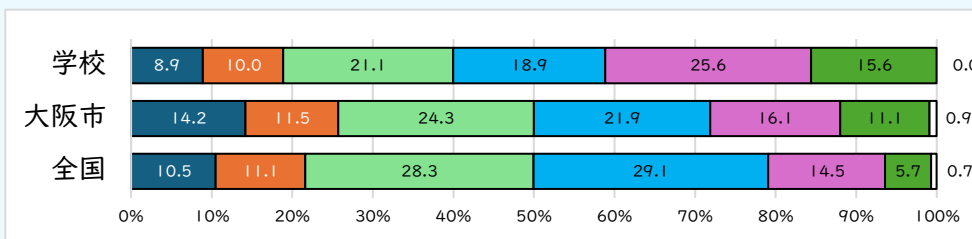
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(4)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
-----	---



- 1 4時間以上
- 2 3時間以上、4時間より少ない
- 3 2時間以上、3時間より少ない
- 4 1時間以上、2時間より少ない
- 5 30分以上、1時間より少ない
- 6 30分より少ない
- 7 スマートフォン等を持っていない

(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
------	--



- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

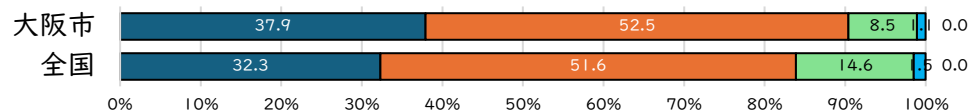
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

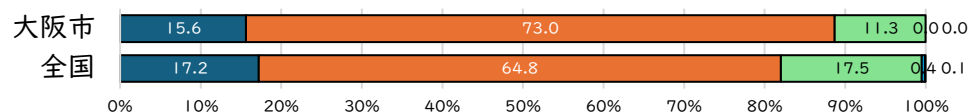


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(10)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

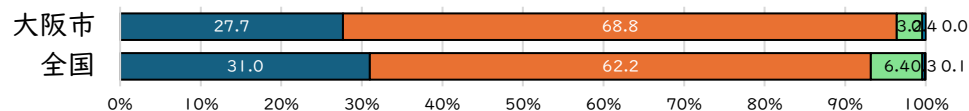


- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

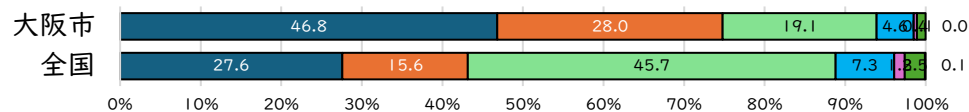


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(67)

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

【学校の回答】 2 毎日持ち帰って、時々利用させている

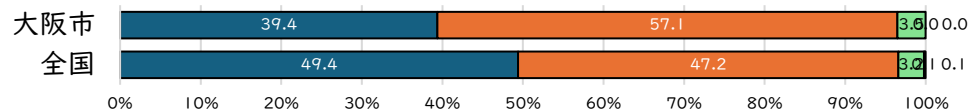


- 1 毎日持ち帰って、毎日利用させている
- 2 毎日持ち帰って、時々利用させている
- 3 時々持ち帰って、時々利用させている
- 4 持ち帰らせていない
- 5 持ち帰ってはいけないこととしている
- 6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている

(81)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった